

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	「産科危機的出血への対応指針2017」による帝王切開術時の大量出血時の対応変化と予後に関する研究			
② 実施予定期間	実施許可日 から 2027 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に当院で帝王切開術を受けられた患者さん			
④ 対象期間	2011 年 1 月 1 日 から 2015 年 12 月 31 日 追跡期間：2016 年 1 月 31 日 2020 年 1 月 1 日 から 2024 年 12 月 31 日 追跡期間：2025 年 1 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	産科婦人科			
⑦ 研究責任者	氏名	山下 敦生	所属	麻酔科蘇生科
⑧ 使用する情報等	性別、年齢、身長、体重、BMI、胎児数、帝王切開術に至る病名、緊急手術の有無、麻酔法、既往歴（術前合併症）、術前治療薬、大量出血に至る病名、血液検査、産科DICスコア、手術情報、輸血量とその種類、血液製剤投与量、転帰など			
⑨ 研究の概要	出産に伴う大量出血は周産期管理の進歩により減少してきたものの、未だ直接産科的死亡の主要因の一つです。2017年に産科危機的出血への対応指針が発表され、帝王切開術時の大量出血に対して、出血量の減少や予後の改善が得られると考えられていますが明確なデータは示されていません。2011年～2015年と2020年～2024年の期間で術中出血量、輸血量、輸液量や手術時間や術後経過・予後を比較検討します。			
⑩ 実施許可	実施許可日		2025 年 12 月 22日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科奨学寄附金			
⑯ 利益相反	ありません			

⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科 担当者：山下敦生			
	電話	0836-22-2291	FAX	0836-22-2292